

J-VER制度を活用することにより、今後の森林整備や木材搬出など林業経営にかかる費用に充当し、さらなる森林整備の推進を図り、森林経営を継続させることを目的としてプロジェクトに取り組んでいます。

プロジェクトの実施場所	兵庫県宍粟市一宮町東河内
吸収量(予測)	年間 344 t-CO2
在庫量	約200t-CO2(平成24年6月時点)
クレジットの次回発行予定	2013年度
1t-CO2あたりの希望単価	お問い合わせください

東河内株山共有林のある宍粟市は兵庫県中西部に位置し、その大部分を森林が占めており、兵庫県下最高峰の氷ノ山など1,000mを超える山がそびえ、古くから林業の盛んな地域となっています。

東河内株山共有林は、SGEC認証取得や兵庫県の推進する揖保川流域の林業経営モデルエリア内にあり、また、災害に強い森づくり等にも積極的に取り組んでいる中、新しい取り組みとしてJ-VER制度にも取り組んでいます。

